



南アの里

学校教育目標「ふるさとを愛し 夢を育む 賢く優しくたくましい子」

令和8年1月30日発行

文責：校長 横山啓二

まずは一步 前に踏み出すこと

令和8年が始まりました。始業式の日1月9日は一段と冷え込みの厳しい朝でしたが、笑顔で登校する子どもたちを迎えることができ、心は温かなスタートでした。

始業式では校長の話として、今年の干支である馬にちなんだ話をしました。一つ目は、「前を向いて進む力」についてです。「馬が走るときに一番大切にしていることは、前を向くことです。目標に向かって力強く、一生懸命に進むエネルギーはどの動物にも負けません。みなさんも自らが決めた目標に向かって、まずは一步前に踏み出すことを大切にしてください」と伝えました。二つ目は、「馬が合う」についてです。「学校生活で言えば、友達や先生と気持ちを合わせて、助け合って過ごすということです。隣にいる友達と馬を合わせて協力すれば、もっと遠くまで、もっと楽しく進むことができます。馬のように力強く駆け抜ける一年になるよう先生たちは全力で応援します」と話しました。



続いて、3年生と6年生の児童代表が「冬休みの思い出と3学期にがんばりたいこと」を発表してくれました。3年生児童は「もちつきをしたこととサッカーの試合でのこと、漢字練習と書初めをがんばりたい。そして4年生の0学期としてクラスのみなどと協力してがんばっていきたい」と話してくれました。6年生児童は、「スケートに挑戦したことと帰りに食べたお蕎麦のこと、がんばりたいこととして勉強のまとめ、特にしっかり文章を読むこととこの仲間と過ごす残りの日々を大切に

して思い出をたくさん作っていきたい」と話してくれました。

2人とも「友達と関わること」に絡めての話をしてくれたことをとてもうれしく思いました。

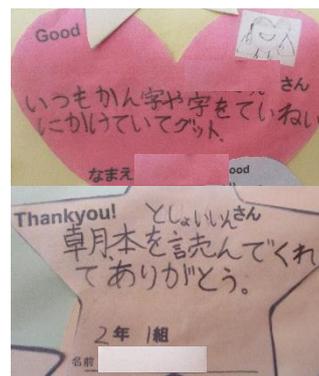
50日間の3学期、それぞれの目標に向かって馬のように力強く駆け抜けることができるよう、教職員一同、全力で応援していきます。今年も本校の教育活動への御理解と御協力をよろしくお願いたします



児童会活動もまとめに そしてバトンタッチ

今年度の児童会では、「カラフル～百田小に絆の花を咲かせよう！」のテーマのもと、①Thank you で世界一周大作戦、②あつあつあいさつ運動、③たてわり Fun 大作戦の活動に取り組んできました。

①の世界一周大作戦では7月に Thank you カードでいっぱいになった山梨県地図と富士山を紹介しましたが、その後、日本地図から大輪の花、そして世界の国々の国旗へと広がり、学級学年を越えた「ありがとう!」「Thank





you!」でいっぱいになっています。

②のあつあつあいさつ運動では、「あいさつりレー」、「あいさつサインラリー」、「たてわりあいさつ」、「あいさつ合戦」と、様々な企画を立て、あいさつ運動を展開してくれました。

③のたてわり Fun 大作戦では、児童集会や「ワクワクデー」を児童会本部が企画し、6年生が先頭に立って、たてわり班の活動を行ってくれました。月に1回の割合で行った「ワクワクデー」は回を重ねるごとに待ち焦がれる下級生が増え、魅力的な活動であることも伺えました。

2月には今年度の活動を総括する児童総会が開かれます。今年度の活動を振り返るなかで、成果と課題を確認し合い、来年度の児童会活動へつなげていってほしいと思います。



白根御勅使中学区小中一貫の取組の一コマ

1月21日(水)、白根御勅使中学校区の小中一貫の取組である「小中合同あいさつ運動」を行いました。この日は昨年度末に百田小学校を卒業した中学校一年生が玄関前に集合してくれました。児童会本部役員の児童とともに一緒に登校してくる児童をさわやかなあいさつで迎えてくれました。上級生である中学生が率先して姿勢よくあいさつする姿は、小学生にとって良い手本となり、活動を通してお互いに良い刺激を受けている様子が伺えました。



また、「文化作品交流」として中学生の美術作品をホールに掲示しました。小学生は、「中学生の作品を鑑賞し、その良さや美しさ、表現の意図や特徴、表し方の変化などについて感じ取ったり考えたりし、自分の見方や感じ方を深めること」を、中学生は、「小学生からの作品の感想を、今後の創作活動の励みにすること」を目的として行っている活動です。6年生は、中学生の作品の良さや工夫等について気付いたことや感じたことを鑑賞シートにまとめていました。

爽やかなあいさつを交わし、作品を通して互いの感性に触れる。こうした小さな交流の積み重ねが、子どもたちの安心感や「あんな先輩になりたい」という憧れへとつながっていきます。



これからも、学校の垣根を越えた「心の通い合い」を大切に育てていきたいと思っています。